715 号·完了稿·はやぶさ 2 アフターコロナ·激変の理念経営道羅針盤③ 評論家はもう終わり! 2025年09 月 12日(金)

■アフターコロナ・激変の羅針盤|"清豊"と"魂の進化"へ導く〈理念経営道計画〉【全 4 回】 変化の荒波の先、あなたの会社はどこへ向かいますか?

過去の成功体験が通用しない今、必要なのは未来を創る「理念経営道計画」。 それは会社の存在理念をカタチにする「航海図」であり「作戦書」です。

利益と幸せを循環させる「清豊」な未来と、 経営者自身の「魂の進化」を叶えるための実践的な知恵を、 全4回でお届けします。

㈱Tigre・HosBiz センター

Captain 平本(AI リライト版)

参考図書:「理念経営道実戦教本」・「理念経営道・入門」

【済】第1回 さあ、冒険の始まりだ!

なぜ今、経営に「清豊」と「魂の進化」という北極星が必要なのか?

【済】第2回 夢をカタチにする未来の設計図

会社の「存在理念」を利益に変える経営計画の描き方

第3回 評論家はもう終わり!

成果を生み出す「実戦」と、人が勝手に育つ魔法の"しくみ"づくり

第4回 めざせ300年企業!

AI と共創する「清豊」な社会と、「ミロクの世」実現への航路

第3回 評論家はもう終わり!

成果を生み出す「実戦」と、人が勝手に育つ魔法の"しくみ"づくり

#### 【目次】

- ■始まり
- ■「念い」を乗せた弾丸を撃て!成果に<u>直結する「実戦」のレシピ</u>
- ■最高のクルーが育つ「魔法の"しくみ"」? あなたの会社の"しくみ"を磨こう!
- ■航海図をアップデートし続けろ!進化する組織の作り方
- ■結び:今こそ、羅針盤を手に、未来へ舵を切れ!

未来を創る経営者の皆さん、こんにちは! 羅針盤を手にし、設計図を描いた今、いよいよ船を動かす時が来ました。

第3回のテーマは

「評論家はもう終わり!」。

観客席からフィールドに飛び出し、

未来を創る「理念経営道計画」を具体的な「行動=実戦」に移し、 あなたの船(会社)を動かすクルー(従業員)が自立的に育つ「魔法の"しくみ"」を築き上げる。 そのための、最も熱く、重要な航海にご案内します!

# ■「念い」を乗せた弾丸を撃て!成果に直結する「実戦」のレシピ

昨日までの地図が役に立たない荒波の中、 私たち経営者には「やらねばならぬこと=使命」 があります。 傍観者でいることは、すなわち沈没を意味します。

「理念経営道」で言う「実戦」とは、単なる行動ではありません。 あなたの魂からの「こうするんだ!」という強い「念い(おもい)」を乗せた、創造的なアクション のこと 。

この「念い」こそが、不可能を可能にするエネルギーの源泉なのです。

船を動かし続けるには、

「利益」と「キャシュ」という名の「進化・発展・持続のエネルギー源」が不可欠です。 このエネルギーは、お客様に心からの喜びやメリットという「価値」を提供して、従業員がワクワ ク感を覚えてこそ得られるもの。

お客様が評価しない作業は「ムダ」であり、市場から消え去る運命にあります。 そのエネルギーを生み出す3つのシンプルな原則があります。

「節倹」:単なるケチではなく、自分の福運への感謝と調和の取れた心構えです。

「生かして使わねば去る」:富も人脈も情報も、抱え込まずに循環させることが大切です。

「与えるものは与えられる」:まず相手に与えれば、やがて還流する。経済は風のように「循環」 しています 。

船長であるあなたは、これらの原則を胸に、

「先を見通す先見力」と「決断力」を持って「実戦」 してください。 時には事業をたたむ「勇気ある撤退」も、 未来へ進むためのトップにしかできない重要な任務なのです。

■最高のクルーが育つ「魔法の"しくみ"」? あなたの会社の"しくみ"を磨こう! 中小企業にとって「人」は企業の骨格であり、基本構造そのもの です。 だからこそ、人が自ずと育つ「魔法の"しくみ"」を船に搭載することが重要になります。

「しくみ」とは、ルールブックのことではありません。 会社の DNA や創業の精神、困難を乗り越えた経験といった 組織を強くし、危機を察知する免疫力のように働く「無形の経営資源」 のことで、 それぞれの役割分担(機能)が連携して、船を航海図(経営計画)に従って考働する「企業文化」。

そして、経営者の

最大の任務は「後継者づくり」です。 次世代の船長を育てるには、ロマンあふれる覚悟が必要。

その人の特性を見抜き、

「『俺が責任取るからやれ!』と、挑戦すれば実現する課題と舞台と出番を与え」 れば、人は挑戦の中で大きく成長します。

この「しくみ」づくりを、現代では AI が強力にサポートします。

ベテランの頭の中にある「暗黙知」を、誰もが使える「形式知」に変える"魔法の杖"として、 会議の活性化、技術の言語化、提案書の質向上など、

中小スモール企業こそ、その「柔軟さとスピード感」を活かし、 AI を「勝利の武器」として活用できるのです。

## ■航海図をアップデートし続けろ!進化する組織の作り方

「理念経営道計画」は、これら日々の「実戦」と「しくみ」を統合し、未来へと導く「航海図」です。

しかし、一度作って終わりではありません。 航海日誌のように「ターゲット P-D-C-A」サイクルを粘り強く回し 続け、 クルー全員の「納得と共感」を得ながら航路を微調整する考働を続ける。 その繰り返しが、企業をサナギが蝶になるような「変態脱皮」 へと導き、 強靭な組織へと進化させます。

その進化の根底に必要なのは、

「素直さ・自助努力・謙虚さ」という、人間として大成するための三つの条件。 経営者自らが日々の「精進」の中でこの徳を体得し、その姿を見せること。 それこそが、最高のクルーが自然と集まり、育っていく最高の「しくみ」なのです。

# ■結び:今こそ、羅針盤を手に、未来へ舵を切れ!

アフターコロナとその後の激動の荒波は、 私たちに「本物」しか生き残れない時代 が来たことを告げています。

本物とは、人間としての生き方の規範を持ち、 ビジネスを社会のルールによって実行し、世の中に働きかけができる人です。

「清豊」な社会と、私たち自身の「魂の進化」は、遠い夢物語ではありません。 日々の「実戦」の中で、人を育て、活かす「しくみ」を築き上げる 不退転の決意 があれば、必ず実現できます。

さあ、評論家であることはもうやめましょう。羅針盤を手に、未来への舵を、今、あなたのその 手で切りましょう!

次回はいよいよ最終回、「めざせ 300 年企業!」。 この航海のさらに先にある、壮大なビジョンをお届けします。どうぞご期待ください。

編集長 岩下一智 (株) Tiger・HosBiz センター・ 執行役員 マーケット・クリエーター(MRC)

いかがでしたか?次回は

■アフターコロナ・激変の羅針盤|"清豊"と"魂の進化"へ導く〈理念経営道計画〉【全 4 回】 変化の荒波の先、あなたの会社はどこへ向かいますか? 過去の成功体験が通用しない今、必要なのは未来を創る「理念経営道計画」。 それは会社の存在理念をカタチにする「航海図」であり「作戦書」です。

利益と幸せを循環させる「清豊」な未来と、 経営者自身の「魂の進化」を叶えるための実戦的な知恵を、 全4回でお届けします。

㈱Tigre・HosBiz センター

Captain 平本(AI リライト版)

参考図書:「理念経営道実戦教本」・「理念経営道・入門」

の第4回

めざせ 300 年企業!

AI と共創する「清豊」な社会と、「ミロクの世」実現への航路

をお送りする予定です お楽しみに!

■参考図書■Amazon 電子書籍&ペーパーパックの出版案内

「理念経営道・入門」kindle 版を7月24日に配信しました。 Amazon で検索されまして、今回の4回シリーズの「AI 経営革命」が、 どのように経営の現場で推進され、経営課題が実現するか解説しています。

### ★利用代金

- ① プレミアム会員・・・無料
- ② フリー会員・・・・・購入¥550(税込み)
- ③ ペーパーパック・・・・購入¥1320(税込み)
- ★音声ガイダンスの URL を HP に載せましたので 是非お聞きしてみてください。新鮮な刺激があるでしょう!! https://rinenkeieidoh.com/

著者: (株)Tigre • HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。 heart gaia gi@hosbiz.net バックナンバーは下記の URL を確認してください。

https://rinenkeieidoh.com/MailMagazine

社名:変更のご案内

第3の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス(JB)を組んで小規模企業・中小企業が「地域・業界No.1」となって、持続できるように

「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HP を更にリニューアルした暁には、 詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願いします

新社名:::(株)Tigre・HosBiz センター (ティグレ・ホスビズセンター)

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を よろしくお願いします。

次回、第716号は

■アフターコロナ・激変の羅針盤|"清豊"と"魂の進化"へ導く〈理念経営道計画〉【全 4 回】 変化の荒波の先、あなたの会社はどこへ向かいますか?

過去の成功体験が通用しない今、必要なのは未来を創る「理念経営道計画」。 それは会社の存在理念をカタチにする「航海図」であり「作戦書」です。

利益と幸せを循環させる「清豊」な未来と、 経営者自身の「魂の進化」を叶えるための実戦的な知恵を、 全4回でお届けします。

㈱Tigre・HosBiz センター

Captain AI-平本

の第4回

めざせ 300 年企業!

AI と共創する「清豊」な社会と、「ミロクの世」実現への航路

を、25・09・19(金)にお届けする予定ですので、 楽しみにしていてくださいね。

※なお内容は予告なく変更する時がありますので、ご承知ください。

◆「理念経営道実戦教本」のダイジェスト版(Amazon・kindle 対応)の 「理念経営道・入門」が発売されましたのでご案内いたします。 内容は、「AI 経営革命」で、AI をいかに使いこなすかのガイドブックです。

#### 目次

- 第1章 理念経営道は「世のため・人のため」を目指すエラー! ブックマークが定義されていません。
  - 1. 「理念経営道」命名の由来 ......エラー! ブックマークが定義されていません。
- 2. 理念経営道では、経営者の「理念と徳目」が、企業の「進化・発展・持続」のカギエラー! ブックマークが定義されていません。
- 3. 精神活動における新たな「進化・発展・持続」の3つの条件エラー! ブックマークが定義されていません。
- 第2章 強固な企業経営の「土台」は「創客(顧客の獲得・受注の促進)」エラー! ブックマークが定義されていません。
  - 1. 企業経営の基礎訓練と企業経営のゴールド免許を取るにはエラー! ブックマークが定義されていません。
  - 2. 経営者は「孤独」だが、「ひとりボッチ」ではないエラー! ブックマークが定義されていません。
  - 3. 創客(顧客の獲得・受注の促進) こそ企業経営の要(かなめ) エラー! ブックマークが定義されていません。
- 第3章 2025 年を基準にして過去 55 年と現在+近未来 15 年の時代トレンドエラー! ブックマーク が定義されていません。
- 第4章 AI とあなたの知見と経験知で、中小企業が大手に勝つ経営とはエラー! ブックマークが定義されていません。

あなたの会社にもできる、AI 理念経営道進化のすすめ方エラー! ブックマークが定義されていません。

- 1. 「AI は道具ではない、 "経営戦略"である」エラー! ブックマークが定義されていません。
- 2. 「AI×知財」で創出する"模倣されない強み"エラー! ブックマークが定義されていません。
- 3. 「事例に学ぶ"勝てる AI 経営"のリアル」 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
- 4. 「"うちにもできる"AI 経営革命の設計図」…エラー! ブックマークが定義されていません。
- 5. AI 理念経営道進化支援メソッド ......エラー! ブックマークが定義されていません。
- 第5章 事例に学ぶ「経営者の器」と AI の活用効果エラー! ブックマークが定義されていません。
- 1. ALN (倒産寸前の会社が『日本で一番大切にしたい会社』に) エラー! ブックマークが定義されていません。
- 2. TPM (ゴム試作成型メーカー:理念経営道のモデルメーカー) エラー! ブックマークが定義されていません。
- ◆参考図書......エラー! ブックマークが定義されていません。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、 私たちは「世のため・人のため」になれない。 とクルーー同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。 では、また次号で元気にお会いしましょう!

- ◆発信日・・・・毎週・金曜日
- ◆発行責任者・・・・ Captain 平本靖夫
- ◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) Tigre・HosBiz センター・ 執行役員 マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

https://rinenkeieidoh.com/Members

Facebook

https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto)

お問い合わせは https://rinenkeieidoh.com/Contact まで

• • • •

ご愛読ありがとうございます

著者:(株)Tigre • HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

rinenkeieidoh.com/Members

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス: kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者: Captain 平本靖夫、

編集長:岩下一智 MRC